2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	健康•医療心理学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年	学期及び曜時限	後期	教室名	
担当教員		条経験と 関連資格			

《授業科目における学習内容》

ストレスと心身の疾病の関係、医療現場や保健活動現場における心理社会的課題と支援、災害時の心理等を説明できるようになる。1年前期の学習の復習をメインにアウトプット形式で学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

定期試験の点数70%

出席点20%

提出物·受講態度点10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

参考図書:健康心理学入門(有斐閣アルマ)、健康・医療心理学(ナカニシヤ出版)

《授業外における学習方法》

参考図書を読むなど事前に勉強する

《履修に当たっての留意点》

健康に関すること医療に関することの心理学について講義します

授業の 方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
弟 1 回	講義	授業を 通じての 到達目標	健康とは何か、ICF、ICIDH、QOLについて説明できる		配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	我形式	各コマに おける 授業予定	講義オリエンテーション 心理学的見地による健康の概念	ター、配布資料 映像資料	
第 2 回	講義	授業を 通じての 到達目標	健康とは何か、ICF、ICIDH、QOLについて説明できる②	PC、プロジェク	配布資料で該当項目を
	形 各コマに おける 授業予定		健康の概念に関する様々な用語や指標について理解する	ター、配布資料 映像資料	調べ、専門用語に触れる。
第 3 同		授業を 通じての 到達目標	ストレスとは何かストレスが心に及ぼす影響とは何かについて説 明できる	PC、プロジェク	配布資料で該当項目を 調べ、専門用語に触れ る。
	義形式	各コマに おける 授業予定	ストレスと心身の影響を理解、歴史的背景	ター、配布資料 映像資料	
第	授業を 通じての 到達目標 義		ストレスとは何かストレスが心に及ぼす影響とは何かについて説 明できる②	PC、プロジェク	配布資料で該当項目を 調べ、専門用語に触れ る。
4	莪形式	各コマに おける 授業予定	ター、配布資料 ドレスと心身の影響を理解、歴史的背景 映像資料		
第 5 5	講	授業を 通じての 到達目標	生活習慣と健康に関することについて学ぶ(生活習慣病など)について説明できる	PC、プロジェク	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	義形式	形 各コマに	生活習慣と健康について	ター、配布資料 映像資料	

	業の 法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	健康教育に関することについて学び、概要を説明できる。	PC、プロジェク	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマに おける 授業予定	プリシード・プロシードモデルについて	ター、配布資料 映像資料	
第 7 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	行動変容モデルに関することについて学び、概要を説明でき る。	PC、プロジェク	配布資料で該当項目を 調べ、専門用語に触れ る。
		各コマに おける 授業予定	トランスセオレティカルモデルを中心に学ぶ	ター、配布資料 映像資料	
第 8 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	主観的健康観に関することについて学び、概要を説明できる。	PC、プロジェク ター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を 調べ、専門用語に触れ る。
		各コマに おける 授業予定	心身の健康度について自分自身の感覚により自分で判断する 指標としての主観的健康観について、厚労省のデータや研究論 文から読み解く。		
第 9 回	講義	授業を 通じての 到達目標	ソーシャルサポートに関することについて学び、概要を説明できる。	PC、プロジェク	配布資料で該当項目を 調べ、専門用語に触れ る。
	形式	各コマに おける 授業予定	人と人とが支え合うことの現象理解やその効用について、様々な 事例を通じて学習	夕一、配布資料 映像資料	
第 10 回	通じて 到達目	授業を 通じての 到達目標	健康関連自己概念に関することについて学び、概要を説明できる。	PC、プロジェク	配布資料で該当項目を 調べ、専門用語に触れ る。
	義形式	形 各コマに	健康維持と自己統制感	ター、配布資料	
第 11 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	レジリエンスに関することについて学び、概要を説明できる。		配布資料で該当項目を 調べ、専門用語に触れ る。
		各コマに おける 授業予定	心身の回復力・復元力に関する概念であるレジリエンスの概念 について学習する。	PC、プロジェク ター、配布資料	
第 12 回	講	授業を 通じての 到達目標	ポジティブ心理学と健康に関することについて学び、概要を説明できる。	PC、プロジェク	配布資料で該当項目を
	義 各コマに おける 授業予定		近年、話題に上がることが多いポジティブ心理学の潮流を学ぶ	ター、配布資料	調べ、専門用語に触れる。
第	義形式	授業を 通じての 到達目標	仕事習慣・エンゲージメントに関することについて学び、概要を 説明できる。	PC、プロジェク	配布資料で該当項目を 調べ、専門用語に触れ る。
别 回		各コマに おける 授業予定	ワークエンゲージメントの概念を体系的に学び、事例に照らして 考える力を育成	ター、配布資料	
第 14 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	科目のまとめと振り返りを通じて知識のアウトプットができる	PC、プロジェク	配布資料で該当項目を 調べ、専門用語に触れ る。
		各コマに おける 授業予定	まとめと最終確認	ター、配布資料	
第 15 回	義形式	授業を 通じての 到達目標	科目のまとめと振り返りを通じて知識のアウトプットができる	DC プロジェカ	配布資料で該当項目を
		各コマに おける 授業予定	まとめと最終確認	PC、プロジェク ター、配布資料	調べ、専門用語に触れる。